

つるおか

# 市議 会

平成26年

12月定例会号  
H27.2.1 発行

だより



## 笑顔でダンス！！

シューティング スターズ  
鶴岡市内の子供たちで結成する「Shooting☆Stars」。  
見てくれた人が元気になるように、はじけるような笑顔で踊っています。  
老人福祉施設の慰問や、地域のイベントでチアダンスを披露し、活躍しています。寒さにも負けず練習に励み、地区予選を勝ち抜き、3月には2年連続で全国大会に出場します。

Vol.40

# 議会の概要

27施設の指定管理者を可決  
補正予算、条例議案など  
50件を審議

12月定例会は、12月2日に開会し、市当局が48件、議会が2件の議案を提案しました。請願5件については、所管の常任委員会に付託しました。  
上程された議案・請願は、総括質問、委員会質疑などの後、議会提案の意見書を含め審議され、18日間の会期を経て12月19日に閉会しました。  
(議案・請願・意見書の内容と審議結果は3〜4頁)

## 市当局が議案を提案 4人が総括質問

開会初日は、市当局が予算議案5件、条例議案10件、事件議案29件、人事案件2件の計46件の議案を提案し、各会派を代表して4人の議員が総括質問を行いました。(総括質問の内容は5〜6頁)  
上程された議案については、予算議案は予算特別委員会に、条例議案及び事件議案は、所管の常任委員会に付託しました。  
次に、議第232号及び議第233号の人事案件2件を審議し、全員賛成で同意しました。  
(人事案件の内容は下段)



## 12月定例会日程

|        |                       |
|--------|-----------------------|
| 2日     | 本会議 (総括質問)<br>予算特別委員会 |
| 4・5・8日 | 本会議 (一般質問)            |
| 9~12日  | 常任委員会                 |
| 18日    | 本会議<br>予算特別委員会        |
| 19日    | 本会議 (閉会)              |

## 予算特別委員会を開催 提案趣旨を説明

同日、本会議終了後に、議員全員による予算特別委員会を開催しました。付託された予算議案5件についての提案説明が行われ、各分科会に分割付託しました。

## 一般質問に 25人の議員が登場

12月4日、5日、8日の3日間、市当局に対して一般質問を行い、25人の議員が市政全般について質問を行いました。(一般質問の内容は9〜15頁)

## 各常任委員会を開催 条例・予算議案等を審査

9日に総務、10日に市民文教、11日に厚生、12日に産業建設の各常任委員会及び予算特別委員会分科会を開催しました。  
常任委員会では、付託された条例議案及び事件議案の審査を行い、分科会では予算議案の審査を行いました。(委員会審査の内容は7頁)



また、総務及び産業建設常任委員会では、付託されていた請願の審査を行いました。  
**請願2件採決  
補正予算は全員賛成で可決**

18日の本会議では、意見書提出を求める請願第16号及び第17号について、所管の常任委員長が審査の報告を行い、表決の結果、全員賛成で採択としました。請願第13号及び第15号は討論の後、表決の結果、賛成少数で不採択としました。また、請願第14号は請願第13号と同趣旨のため、みなし不採択としました。

本会議終了後に開催した予算特別委員会では、各分科委員長が予算議案の審査報告を行い、表決の結果、全員賛成で承認及び可決しました。  
**意見書2件を可決  
4条例案を除き全員賛成で可決**

議会最終日の19日、最初に議員2人の辞職について許可しました。(議員辞職の内容は下段)  
次に、議会第13号及び第14号の意見書2件を議会が提案し、表決の結果、全員賛成で可決しました。

次に、各常任委員長が条例議案及び事件議案、予算特別委員長が予算議案についての審査報

告を行い、議第188号から議第231号までのうち40件は全員賛成で承認及び可決しました。議第195号、議第196号、議第216号及び議第217号については、市民文教及び産業建設常任委員長が審査報告を行い、討論の後、表決の結果、賛成多数で可決しました。  
最後に、追加議案として、市当局が議第234号及び議第235号を提案し、全員賛成で可決しました。

## 議員の辞職

本議会議中に2人の議員が辞職願を提出し許可され、12月31日をもって辞職しました。このことにより、鶴岡市議会議員の現員数は30人となりました。

関 徹 議員(共産党市議員)  
佐藤 聡 議員(新政クラブ)

## 人事案件の結果

人権擁護委員候補者  
本間 晴美 氏(早田)  
情報公開・個人情報保護審査会委員  
犬塚 晴夫 氏(柳田)

▼市当局から提案された議案と審議結果

| 議案番号            | 議案名   | 付託委員会 | 審議結果          |
|-----------------|---|-------|---------------|
| 議第188号          | 平成26年度鶴岡市一般会計補正予算(専決第1号)の専決処分の承認について  | 省 略   | 承 認           |
| 議第189号          | 平成26年度鶴岡市一般会計補正予算(第6号)  | 予算特別  | 可 決           |
| 議第190号          | 平成26年度鶴岡市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第1号)   | 予算特別  | 可 決           |
| 議第191号          | 平成26年度鶴岡市集落排水事業特別会計補正予算(第2号)  | 予算特別  | 可 決           |
| 議第192号          | 平成26年度鶴岡市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)   | 予算特別  | 可 決           |
| 議第193号          | 財産の取得について<br>スクールバス3台を取得するもの  | 総 務   | 可 決           |
| 議第194号          | 指定管理者の指定について(鶴岡市ケーブルテレビジョン)   | 総 務   | 可 決           |
| 議第195号          | 鶴岡市教育委員会教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例の制定について   | 市民文教  | 可 決<br>(賛成多数) |
| 議第196号          | 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について<br>法律の改正により、教育長が教育委員会を代表する特別職の職員とされたことから、関係条例の制定及び改廃を行うもの | 市民文教  | 可 決<br>(賛成多数) |
| 議第197号 ~ 議第206号 | 指定管理者の指定について<br>(鶴岡アートフォーラム、鶴岡市温海総合運動場 他9件)   | 市民文教  | 可 決           |
| 議第207号          | 鶴岡市立愛光園設置及び管理条例の一部改正について<br>鶴岡市立愛光園が行う事業に就労継続支援、放課後等デイサービスを加え、その定員を定めるもの。自立訓練の定員を改めるもの                            | 厚 生   | 可 決           |
| 議第208号          | 鶴岡市国民健康保険条例の一部改正について<br>出産育児一時金の額(加算額を除く)を39万円から40万4,000円に改めるもの   | 厚 生   | 可 決           |
| 議第209号          | 鶴岡市羽黒保健センター設置及び管理条例の廃止について<br>鶴岡市羽黒保健センターを廃止するもの  | 厚 生   | 可 決           |
| 議第210号 ~ 議第215号 | 指定管理者の指定について<br>(鶴岡市休日夜間診療所、鶴岡市休日歯科診療所 他4件)   | 厚 生   | 可 決           |
| 議第216号          | 鶴岡市公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正について<br>負担区に小堅負担区を追加し、賦課する負担金の額を土地1につき400円と定めるもの  | 産業建設  | 可 決<br>(賛成多数) |
| 議第217号          | 鶴岡市水道事業の設置等に関する条例の一部改正について<br>公共下水道事業、集落排水事業及び浄化槽事業に地方公営企業法の規定の全部を適用させることとするもの                                    | 産業建設  | 可 決<br>(賛成多数) |
| 議第218号          | 鶴岡市月山あさひ博物村設置及び管理条例の一部改正について<br>位置を越中山字名平3番地1から越中山字名平3番地2へ変更するもの<br>施設のうち、山ぶどう研究所及びトンネルピットを廃止するもの                 | 産業建設  | 可 決           |
| 議第219号          | 鶴岡市地区構造改善センター設置及び管理条例の一部改正について<br>越沢基幹集落センター、木野俣集落センター、小国山村振興センター、小名部構造改善センターを廃止するもの                              | 産業建設  | 可 決           |
| 議第220号          | 鶴岡市小国交流促進センター設置及び管理条例の廃止について<br>小国交流促進センターを廃止するもの   | 産業建設  | 可 決           |
| 議第221号 ~ 議第223号 | 指定管理者の指定について<br>(勝福寺交流センター、鶴岡市立加茂水族館、鶴岡市駅前再開発ビル駐車場)   | 産業建設  | 可 決           |
| 議第224号          | 鶴岡市公共下水道事業大山中継ポンプ場の建設工事委託に関する協定の一部変更について<br>協定金額を1億5,350万円に変更するもの   | 産業建設  | 可 決           |
| 議第225号          | 鶴岡市公共下水道事業鶴岡浄化センター、湯野浜浄化センター及び温海浄化センターの建設工事(改築・更新)委託に関する協定の一部変更について<br>協定金額を8億5,720万円に変更するもの                      | 産業建設  | 可 決           |
| 議第226号 ~ 議第231号 | 指定管理者の指定について<br>(藤島総合交流促進施設、やまぶし温泉ゆぽか 他4件)  | 産業建設  | 可 決           |
| 議第232号          | 人権擁護委員候補者の推薦について  | 省 略   | 同 意           |
| 議第233号          | 鶴岡市情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱について  | 省 略   | 同 意           |
| 議第234号          | 平成26年度鶴岡市一般会計補正予算(第7号)  | 省 略   | 可 決           |

▼市当局から提案された議案と審議結果

| 議案番号   | 議案名  | 付託委員会 | 審議結果 |
|--------|--|-------|------|
| 議第235号 | 鶴岡市一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について<br>一般職の職員の給与月額と手当等の支給割合等を改めるもの。常勤の特別職及び議員の期末手当の支給割合を改めるもの | 省 略   | 可 決  |

▼議会が提案した議案と審議結果

| 議案番号   | 議案名                    | 付託委員会 | 審議結果 |
|--------|------------------------|-------|------|
| 議会第13号 | 米の需給安定対策に関する意見書の提出について | 省 略   | 可 決  |
| 議会第14号 | 農協改革に関する意見書の提出について     | 省 略   | 可 決  |

▼請願と審議結果

| 請願番号   | 請願件名   | 付託委員会 | 審議結果            |
|--------|--|-------|-----------------|
| 請願第13号 | 集团的自衛権行使容認の「閣議決定」を撤回し、集团的自衛権行使に向けた法整備を行わないことを国に求める意見書の提出に関する請願 | 総 務   | 不 採 択<br>(賛成少数) |
| 請願第14号 | 集团的自衛権行使に向けた法整備を行わないことを国に求める意見書の提出に関する請願                       | 総 務   | み な し<br>不 採 択  |
| 請願第15号 | 消費税率10%の先送り実施ではなく、中止することを求める意見書提出に関する請願                        | 総 務   | 不 採 択<br>(賛成少数) |
| 請願第16号 | 米の需給安定対策に関する件について意見書提出を求める請願                                   | 産業建設  | 採 択             |
| 請願第17号 | 農協改革に関する件について意見書提出を求める請願                                       | 産業建設  | 採 択             |

◎議会の開催状況 (単位:回・日)

| 招集回数 |     | 会期日数 |     | 本会議日数 |     |
|------|-----|------|-----|-------|-----|
| 定例会  | 臨時会 | 定例会  | 臨時会 | 定例会   | 臨時会 |
| 4    | 3   | 85   | 3   | 25    | 3   |

◎常任委員会の開催状況 (単位:日)

|     | 総務 | 市民文教 | 厚生 | 産業建設 |
|-----|----|------|----|------|
| 委員会 | 4  | 4    | 4  | 4    |
| 分科会 | 5  | 5    | 5  | 5    |
| 協議会 | 0  | 0    | 1  | 1    |

平成26年中は4回の定例会(3月、6月、9月、12月)と、3回の臨時会(4月、8月、10月)が開催されました。その概要は、次のとおりです。

議会の開催状況 (平成26年中)



◎議員全員協議会 4回 ◎議会運営委員会 15回

◎提出議案の状況 (単位:件)

| 市長提出 |    |     |    |    |     | 議員提出 |    |     |     |    | 請 願 |    |    |
|------|----|-----|----|----|-----|------|----|-----|-----|----|-----|----|----|
| 予算   | 決算 | 条例等 | 事件 | 人事 | 計   | 条例   | 決議 | 意見書 | その他 | 計  | 受理  | 継続 | 計  |
| 38   | 3  | 102 | 83 | 9  | 235 | 0    | 1  | 12  | 1   | 14 | 17  | 0  | 17 |

◎審査の状況 (単位:件)

| 市長提出 |    |    |    |        |    | 議員提出 |    |    |    | 請 願 |        |      |      |     |
|------|----|----|----|--------|----|------|----|----|----|-----|--------|------|------|-----|
| 可決   | 同意 | 承認 | 認定 | 可決及び認定 | 否決 | 可決   | 否決 | 推薦 | 採択 | 不採択 | みなし不採択 | 継続審査 | 審議未了 | 取下げ |
| 220  | 9  | 3  | 2  | 1      | 0  | 12   | 1  | 1  | 4  | 11  | 1      | 0    | 0    | 1   |

▼市当局から提案された議案と審議結果

| 議案番号   | 議案名   | 審議結果          |
|--------|---|---------------|
| 議第185号 | 平成26年度鶴岡市一般会計補正予算(第5号)  | 可 決<br>(賛成多数) |
| 議第186号 | 鶴岡市文化会館改築工事請負契約の締結について<br>当該工事について、竹中工務店・菅原建設・鈴木工務店特定建設工事共同企業体と78億8,400万円で契約を締結するもの                       | 可 決<br>(賛成多数) |
| 議第187号 | 鶴岡市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について<br>市長の給料月額について、平成26年11月1日から同月30日までの間、100分の2を乗じて得た額を上乗せして100分の40を乗じて得た額を減額するもの | 可 決<br>(賛成多数) |

10月10日に臨時会が開かれ、新文化会館整備事業に関する議案が提案され、可決されました。

10月臨時会が開催されました

# 総括質問

市長の提案に対して  
会派を代表して質問します

(執筆は質問をした議員本人です。)

## 新政 クラブ



久議員  
藤 齋

### 米価下落対策と農業所得の増大は

議員 「再生産可能な米価を」という農家の悲痛な叫びは深刻である。現場の声にどう応えるか。

市長 現在、米価下落緊急資金制度の準備を進めており、12月末から運用を開始する。所得向上は園芸作物や果樹、花卉と合わせ、非主食用米の作付けを取り入れた複合経営を進めるべきと考え、作った農産物を売るだけでなく、需要のある農産物を作るよう切り替え、出口対策を強化する必要がある。ユネスコ創造都市ネットワークの加盟を絶好の機会と捉え、海外輸出を含め販路拡大を強化していく。

### 若年層の地元定着は活力と人口減少を克服する道ではないか

議員 強い地元企業が増えれば雇用の厚みも増し、経済の新陳代謝も進む。また、まちの力は人口密度より人と人が交わる密度、人と人の関係が大切。地域経済、雇用情勢と新たなまちづくりの方向は。市長 若者の地元定着を図るため地元企業の支援に力を入れてきた。今、3社のベンチャー企業が生ま

れており、若者の新規雇用を増やしている。山形DCで大幅に観光客が増加し、観光産業を後押ししているし、今後、ユネスコ食文化創造都市の認定を活かして、新たな食文化の起業や雇用の創出を進めていく。また、女性の活躍推進のため職場、家庭の両立支援等に取り組み企業を増やしていく。さらに、Uターンガイドを作成し積極的に本市の魅力をもPRしていく。まちづくりは、各自治組織の基盤が強化されるよう自立した取り組みを推進していく。



ユネスコ創造都市ネットワーク加盟認定記者会見の様子

### 今後の財政バランスは

議員 国の地方創生の動向と今後の財政運営の健全性は。市長 財政は良好に推移している。本市資源や特性を活かした事業を提案し、資金獲得に努めていく。

## 市民 クラブ



茂議員  
加賀山

### 新文化会館への市長の認識は

議員 市民はもとより、広範の人々が様々な心境で高い関心を示した新文化会館の建設が決まった。建設決定までには、市民の要望や提言もあり、議会も議論を重ねた。今後の工事費に変化はないのか、物価スライドによる工事費の上昇については、議会に対し速やかに提示するよう求める。

3回の入札不調を経てきたが、建設については概ね変えることなく至っている。長い工事期間であり、想定しないトラブルや完成後の不具合、総体的な維持管理費の増大も懸念される。市長が決断をし、議会が決定した。市民から、だからあの時と言われないようにと思っている。新文化会館の完成となり、完成後も問題なく市民から評価されること、市長がこだわり描いた新文化会館建設への自信のほどを伺う。

市長 公共工事建設労務単価や建設資機材に関わる市場価格の変動により、工事費の増額が必要となる場合には、速やかに議会に説明をする。入札については、社会情

勢、経済情勢の動向を私自身が多分に見誤ったところがある。議会、市民にご迷惑をかけ完成が遅れることを申し訳なく思っている。今、致道博物館で解体、修理工事中の旧鶴岡警察署は130年前、擬洋風建築物として建てられ、その時代の建物には、旧西田川郡役所、マリア園のカトリック教会、99年前建築の大宝館があり、鶴岡の市内に十分マッチした建物として、歴史的に価値あるものと思っっている。文化会館がその様になるということではないかもしれないが、少なくとも今の時代に合った建築設計であると思っっている。文化都市の中心地の場所に建設することで近隣の致道館や、他の修景とマッチした建物がつくられ、芸術文化のまち鶴岡の顔になると思っっている。



新文化会館の安全祈願祭

日本共産党  
鶴岡市議員



菅井 巖 議員

### 米価下落、地域経済への影響は

議員 米価の大幅下落によって、県は、県内の米農家全体の収入が145億円減少すると試算している。米価下落は、米流通を市場原理に委ね、需給と価格の安定に責任を持たない政府による「政治被害」であり、農家の所得の減収が、地域経済に重大な影響を及ぼすことから、市としても試算を行い、市民にも地域の農家実態をしっかりと伝えるべきと考えるが。



米価下落対策を

市長 米価下落の影響について、本市には県全体の6分の1の主食用米の作付けがあることから、本市への影響は県が試算した145

億円のおおよそ6分の1に当たる24億円と推測している。

### 教育委員会の議事録公開を

議員 教育委員会の会議の公開について、他自治体では行われているホームページによる会議内容、議事録の公開が本市では行われていないのは何故か。定例会議で何が協議され、決められているのか、市民に公開し、開かれたものにするべきだ。

市長 毎月の定例会も原則公開しており、実際に傍聴者もいることから議事録の公表を行ってこなかったが、今般、教育長の努力義務として法律に明記されたことと、社会情勢に鑑み、今後は市のホームページの更新時期に合わせて公表していきたいと考える。

### 福祉灯油の実施は

議員 原油価格の高止まりによる低所得者の暖房用灯油の負担を軽減するため、「福祉灯油」について私どもは再三要望してきたが、実施すべきと考えるが。

市長 以前、緊急かつ臨時的に実施したときは、国が実施したことに合わせて行った。現時点では実施しない考えだが、今後の灯油価格の変動や、国・県の動向について注視していきたい。

政友会  
クラブ



秋葉 雄 議員

### 都市盟約の今後のあり方は

議員 これまでの相互交流を総括した上で、今後盟約を締結する都市を増やす可能性はないのか。旧町村地域で始まった交流関係を全市的に展開した交流関係にまで発展させる考えはないか。

市長 旧町村時代に始まった交流が全市的な広がりを持つことは大きな意味がある。今後そのような取り組みを進めていきたい。新たな盟約については、現在の盟約が幅広い分野での交流の長い積み重ねや、関心の高まりによる機運の醸成のもとに締結に至ったものであり、そうしたことが肝要かと考えている。



鹿児島市兄弟都市盟約45周年記念式典

### 農業の出口戦略・販売経路は

議員 本市農業は大変困難な課題に直面している。こうした時代状況になった一番の要因である出口戦略について、産地間競争の荒波の中で、今後は世界とも戦わなければならないことも考えられ、より一層、出口戦略・販売戦略に力を入れなければならない。市の考えは、市長 今後激しさを増すであろう産地間競争において、米どころ庄内、鶴岡こそが勝ち抜いていかなければならない日本の良質米産地としての役割をしっかりと担っていく必要がある。引き続き、つや姫に代表される安全・安心な良食味の米づくりの徹底・庄内産米ブランドの強化を図るとともに、一層の差別化を図り、主要産地としての地位を確保していきたい。

国内における本市農産物の販路については、主に関東方面に出荷されている状況であるが、近年JAで米を関西や九州方面の卸売業者に売り込むなど、新たな販路開拓の動きも起こっている。農産物の海外輸出は、課題とリスクは大きいですが、市場開拓を図る上で非常に魅力があり、ユネスコ食文化創造都市ネットワークへの加盟を契機にしっかりと向き合いたいと考えている。

# 委員会審査

提案された議案を  
それぞれ所管の委員会に  
付託して審査します

(審査の主なものを掲載します。)

## 総務常任委員会

### 鶴岡市ケーブルテレビジョン の指定管理は

委員 視聴者からの番組に対する意見は、また、それをどのように評価しているか。

榎引庁舎総務企画課長 平成20年8月に、榎引地域と朝日地域の全世帯を対象にアンケートを実施した結果、視聴状況ではウィークリーニュースが67%、特別番組が52%となっており、「大体いつも見ている」、「大体見ている」という回答が多いようであった。視聴者の感想としては、「身近な情報が多く興味がわく」、「知っている顔が多く出て楽しい」といったことや、取り上げて欲しいことでは、「地域行事」、「健康に関する情報」や「行政サービスに関する情報」といったものがあげられている。これらの意見を踏まえ、より親しまれる情報番組の制作に努めていきたい。

## 予算特別委員会市民文教分科会

### 朝日中学校改築事業は

委員 労務単価スライド適用とは、どのような制度か。  
管理課長 鶴岡市建設工事請負契

約約款第26条第6項にある、インフレスライドの適用を図るものである。賃金等の急激な変動に対応するもので、具体的には26年2月改定の建設工事の労務単価が、山形県の全職種単価平均で25年4月1日労務単価と比較し、8・2%の上昇が見られたため、適用が図られるものである。基準日以降の単価で算定した場合の差額を変更契約で増額するという議案を改めて提案することとなる。



鶴岡市立朝日中学校完成予想図

## 厚生常任委員会

### 東部保育園の指定管理は

委員 東部保育園について、定員120人に対し138人が入所し

ており、遊戯室の狭さに苦慮している現状や施設の痛みが随所にあることが課題のようだが、どのように考えているか。

子育て推進課長 定員の超過については、定員の120%まで弾力的運用が認められており、基準の範囲内となっている。また、施設改修については、小規模なものは指定管理者が行い、大規模なものは、市で対応することとしており、園からの申し出等も踏まえ、対応していきたい。

## 産業建設常任委員会

### 加茂水族館の現場力を生かす 取り組みは

委員 村上館長をリーダーとする経営の現場力が加茂水族館の人気隆盛を支えてきたと思うが、館長が変わる重要な変化の時に、現場力を生かす取り組みをどう考えるか。

観光物産課長 鶴岡市開発公社は様々な施設を管理しているが、加茂水族館は専門性と特殊性をもった多くの職員で運営されている。今後も運営にあたっては、現在の開発公社の人材やノウハウを考慮し、引き続き指定する判断をしたリニューアルオープンして非常に重要な5年間であり、市としても

水族館のあり方について指定管理者とよく話し合いを重ね、運営について十分検討してサポートしていきたい。



大人気の加茂水族館アシカショー

市議会の活動をわかりやすくお伝えしています。  
是非ご覧ください。

鶴岡市議会

で検索



◎ホームページ掲載情報

- ・市議会議員一覧
- ・会派別議員名簿
- ・インターネット版議会中継、録画データ
- ・会議録
- ・市議会の運営など

# 討 論

表決の前に、提案された議案に対して、賛成か反対かの意見を表明します

(討論の主なものを掲載します。)

## 鶴岡市水道事業の設置等に関する条例の一部改正について

▼反対 日本共産党鶴岡市議団を代表し、反対の討論を行う。

本議案は、公共下水道事業と集落排水事業及び浄化槽事業に、地方公営企業法の全部適用を図り、特別会計から企業会計に移行するものである。

地方公営企業は公共性と企業性の2つの側面を有し、同法では簡易水道を除く水道事業や工業用水道事業など7事業が規定の全部適用とされ、下水道事業は除かれている。その理由は、下水道は、下水道法に基づき、都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、公共用水域の水質の確保に資する事業として公共性が重視されてきたことによる。

法適用を行い、企業会計に移行すれば、独立採算が原則となり、企業性が重視され、費用負担のほとんどを下水道使用料として市民から徴収することになる。

国が進める下水道の企業会計への移行は、その狙いが一般財源の支出削減と独立採算制の強化にあることは明白である。下水道法に基づく公共性を図るには、負担能力に応じた税金、いわゆる一般財

源を自治体の裁量によって繰入れできる特別会計方式を継続すべきである。

▼賛成 新政クラブを代表し、賛成の討論を行う。

本市はこれまでに経験したことのない急激な人口減少、少子高齢化を迎えようとしており、社会構造の変化への対応が求められている。一方で、建設から40年が経過し、老朽化した施設の更新や延命化・耐震化といった新たな建設需要も発生しており、下水道経営を取り巻く環境が厳しさを増している中で、事業を安定して継続していくために、独立採算を基本とする事業運営が必要とされている。

しかしながら、現行の官庁会計方式では、健全な事業運営をするために欠かせない経営状況の把握は困難であり、市民からの理解と協力を得るためにも、経営状況や資産状況を明らかにし、経営の方向性をしっかりと示す必要があり、それには企業会計方式の導入が有効であることは間違いない。

市民生活に欠かせないライフレインである下水道施設を維持し、健全で安定した、持続可能な経営を構築するためにも、地方公営企業法の適用は必要不可欠であると考える。

## 小学生が 議会を体験

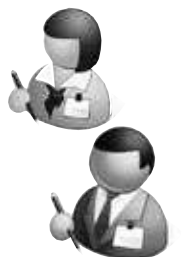
市議会では、小学生が自分たちの住んでいる「まち」の市政や議会に興味をもってもらい、議会を身近でわかりやすく、開かれたものにするため、議会の傍聴や議場の見学を受け付けています。



模擬議会の様子(上郷小学校)

社会科見学の一環で、羽黒第二小学校、あさひ小学校、大網小学校は本会議を傍聴し、市当局と議員のやり取りを見学しました。後日、あさひ小、大網小では、市議会で発言したいことを一人ひとり考える授業を行いました。

上郷小学校、羽黒第三小学校は議棟を見学し、本会議場で実際に議席に座り、模擬議会を体験しました。体験した児童からは「市議会に興味を持ち会議を見てみたくなった」「実際の会議を再現して体験でき、わかりやすかった」などの感想がありました。



## 12月定例会 主なポイント

12月1日に、鶴岡市が日本で初めてのユネスコ創造都市ネットワーク食文化分野での加盟が認定されました。それに伴い、関連補正予算の追加提案がありました。

農業問題について、総括質問で各会派より取り上げられ、2つの意見書が可決されました。

また、法改正による教育委員会関係の条例改正と下水道事業の企業会計化に向けた条例の改正について討論が行われました。



# 一般質問

市政全般について  
考え方や方針などを  
市当局に質問します

(総括質問を行った議員を除く23人の  
質問を掲載します。執筆は質問をした議  
員本人です。)



関 徹  
議員

## 看護師養成・確保対策は

議員 深刻な看護師不足で、病  
床の休止、介護施設の入所制限  
など重大な事態が生じているが、  
庄内の医療・介護関係者が県に  
対して2万3千人分の署名を携  
えて、看護師養成・拡大を求め  
た。市立庄内看護専門学校の内  
員拡大、看護学生向けの奨学金  
制度創設を行うべき。



25年度 市立庄内看護専門学校 卒業生の皆さん

定員拡大には施設改修が必要と  
なる。病院単独では直ちに着手  
することは難しいが、木造校舎  
の所は老朽化しており、建て替  
え等も視野に入れ検討したい。

議員 庄内の看護師不足の要因  
は、高齢者人口比で養成数が全  
国で最も少ないことと、この6  
年程の日本海病院の独立行政法  
人化に伴う大量採用、及び庄内  
病院の7対1看護基準取得のた  
めの採用拡大である。民間の在  
職者がこれらの病院に移ったこ  
ともある。県にも大きな責任が  
ある。支援策を強く求めながら、  
市としても努力していくべき。

医療体制を県としてどう考える  
か、どういった支援を市にしてく  
れるのか提起していき、その辺  
を含めて前向きに検討していき  
たい。



加藤 謙一  
議員

## 企業会計で下水道使用料は

議員 下水道事業について地方  
公営企業法の全部適用で使用料  
が引き上げされないか。

下水道は環境政策と公衆衛生  
の向上を目的に特別会計で行う  
べきではないのか。

上下水道部長 企業会計の導入  
によって経営状況の透明化を進  
め、効率的な維持管理計画、投  
資計画を策定し、適切な使用料  
の設定と内部留保資金の確保に  
努める。下水道事業について国  
では、企業会計方式の義務付け  
を通知している。基準外繰り入  
れは削減していきたいし、多額  
の税金を投入する考えはない。

## 月山ワインへの行政支援は

議員 市行財政改革に伴う月山  
ワイン施設をJAへ譲渡したが、  
行政支援の考え方はどうか。  
農林水産部長 国庫補助事業の

活用や、原料生産の拡大、新た  
な販路拡大など支援する。

## 要介護認定の調査が遅すぎる

議員 要介護認定の申請から調  
査まで40日以上かかった事例が  
あった。申請から結果通知まで  
原則30日以内ではないのか。

健康福祉部長 調査の日程を立  
てるのに苦勞する場合が多々あ  
り、現状では申請から約3週間  
で調査し、約40日で結果通知と  
なっており少し遅れている。申  
請者の状況に応じ、申請の日か  
ら暫定的に介護サービスを利用  
できることを周知していく。



加藤 太一  
議員

## ごみ焼却施設建て替えに向けた 収集、処理システム見直しは

議員 ごみ焼却施設建て替え計  
画を策定することになるが、燃  
やすごみの減量、資源化の推進  
環境にやさしい地域づくり促進  
のために、分別方法の見直し、  
廃棄物処理システムを見直す考  
えは。

市民部長 平成18年策定の一般  
廃棄物処理基本計画を23年に見  
直し実施している。この計画は

27年度までで、改めて次期基本  
計画を策定する。数値目標の設  
定、ごみ減量、リサイクル推進  
に努める。ごみ分別方法や処理  
システムは現状を踏襲しつつ、  
さらに検討を行う。

焼却施設の規模、処理方式等  
は検討委員会の設置も考える。



## 生ごみのバイオマス、 布類の資源回収実施は

議員 燃やすごみの減量で重要  
なのは生ごみ問題。堆肥化、飼  
料化などの考えは。また、布類  
の回収を実施する考えは。さら  
に、資源回収団体への報奨金引  
き上げの考えはないか。

市民部長 生ごみのバイオマス  
は試みた経過があるが、課題が  
多く将来的課題と考える。

布類の回収は十数年前までは  
行っていたが、引き取り業者が  
なく中止した。両者とも民間事  
業者が実施しており連携等につ  
いて検討したい。報奨金は回収  
量増加の動機づけとして今後の  
課題とする。

※バイオマス…植物や動物の排泄物などの有機物



佐藤 峯男  
議員

### イワガキの増殖場の整備は

議員 本市の夏の風物詩であるイワガキは、近年資源の減少により漁獲量が減り、鼠ヶ関地区では毎年開催していたイワガキ祭りを今年中止した状況になっている。イワガキは漁業者にとつて夏場の重要な収入源となつていて、増量対策が望まれる。これまでも市管内の沿岸においてイワガキ増殖場の設置がなされているが、収穫できるまで5年かかることから、漁獲の安定化を図るために計画的な整備が必要と考えるが当局の考えを伺う。

農林水産部長 本市にとつてイワガキはだちや豆と並ぶ夏の特産物として県内外からも認知されており、それを求めて多くの方が訪れる。7月、8月が主な漁獲時期で、この時期は底びき網漁の休漁時期となっていることから、底びき船の乗組員の方々にとつて貴重な収入源となっている。本市水産業にとつて重要な漁獲物である。これまでの取り組みは、イワガキの稚貝

が付着するように漁獲後、岩盤の付着物を除去し、きれいにすることで新たな稚貝を付着させる技術を使い、鼠ヶ関地区と由良地区で漁業者の協力を得て実施している。今後も本市の貴重な水産資源であるイワガキの資源確保を図るため、漁場の整備と漁業者による漁獲調整や漁場管理の取り組みを漁業者、県漁協、県と進めていく。



特産物のイワガキ



今野美奈子  
議員

### がん患者に就労支援を

議員 がん患者が治療しながら働くことができる時代となった。そのための支援を伺いたい。

健康福祉部長 がん専門医療機関などと連携を図り、仕事と治療の両立支援に一体となつて進めていく事が重要だと認識している。雇用主にも機会を捉え、理解を広めるため、情報提供に努める。

### スクールカウンセラーの増員を

議員 市のスクールカウンセラーは1人だが、どのように考えているか。また、有資格者を採用すべきと考えるが、いかがか。教育長 一人体制の現状では、より効果的・継続的な支援が難しくなり、1人の増員を検討している。資格を持つていることに越したことはないが、資格があるからスクールカウンセラーや相談員に向いているかと言われた場合は少し違うと思う。しっかりと子供に向き合える、遊べる、寄り添えるなど、人としての有り様はどうなのかを第一にしたいと思う。

### 障害者施設指導員の資質向上を

議員 支援実態をどう把握しているか。また、新しい研修内容の機会を設定できないか伺う。健康福祉部長 資質に関する苦情は3件。事業所内の苦情解決委員会や県に設置された第三者



石井 清則  
議員

### 茅原地区開発計画の現状は

議員 茅原地区の開発が計画されているが、進捗状況と方針は。建設部長 地区内の地権者により、鶴岡市茅原北土地区画整理組合設立準備委員会が組織され、市に技術援助申請が出された。これを受け、市では事業計画や定款等の技術的援助を行っている。

準備委員会では、地権者全体への2回の説明会が開催され、組合設立に向け事業計画策定や合意形成を図り、事業の採算性を重視し作業を進めている。市としては、事業内容を見極めた上で、事業許可の手続きを進めていく。今後、説明や技術的援助・指導を行いながら、良好なまちづくりを実現したい。

### 計画変更は問題視するも可能性を否定せず

議員 茅原地区は第一種低層住居専用地域であり、大規模な商

業施設は建設できない。それに対し、市は必要があれば計画の見直しを行うとの報道がある。都市計画で決めたことを、その後の計画により変えては、そもそもの計画の否定になり計画の意味がなくなるのでは。建設部長 その点は非常に重要なことであり、たびたび計画の変更があつてはならないと思つている。ただ、茅原地区の概要は固まつていないので、最終的に変更が必要な場合には、手続きを取っていく。



渡辺 洋井  
議員

### 民間主導となるバイオサイエンスパークの開発は安全なものに

議員 バイオテクノロジーの技術開発には安全性の確立が必要不可欠。安全性を確保する対策と共に廃棄物の処理は適確に行い下水道には放流しない対策を。総務部長 市民の安全安心の確保を第一義として進めることが大前提。企業側との安全管理に関する覚書の締結などで、万全を期している。廃棄物は適切に処理後、廃棄物処理業者に処理を委託し下水道への放流はない。

## 鶴岡漢方プロジェクトの 現状と方向性は

議員 漢方生薬の需要の高まりや国の支援もあり、生薬の生産拡大が全国的に展開されている。試験栽培3年目の事業の進展は。農林水産部長 漢方生薬の産業化を目指し、将来的には加工販売も視野に入れ、雇用の創出や一連の経済効果を期待する事業有望品目の栽培及び、技術の確立・普及、栽培指導人材の育成への取り組みなどを進める。

## 公園の遊具を含む子供の遊び場の整備に関する市のビジョンは

議員 遊び場は子供の人間形成に大切。遊具に不備のないように遊び場を積極的に整備すべき。建設部長 子育てに公園の存在意義は大きいと認識しており、遊具など公園施設の適切な維持管理と共に、老朽施設の更新、ニーズを聞き必要な整備を進める。



小野 由夫  
議員

## 藤島地区地域活動センター 改築及び改修案は

議員 藤島地区地域活動センターは、合併前藤島町中央公民館と称し、文武両道を磨く重要な拠点施設として、昭和53年に建設され、以来36年を経過している。また、隣接する武道場はさらに古く、昭和41年の建設であり、両施設とも老朽化が激しく、早急の対応が必要であり、その見解を伺う。

市民部長 藤島地区地域活動センターについては、旧藤島町において、各種社会教育事業の中核的役割を担ってきた施設であり近年も、4万人を超える利用がある。これまでも経年劣化などに対応し、利用状況に応じて防水工事や部屋の改修、空調工事等を実施してきた。

今後も自治振興会等の要望を聞きながら、緊急性なども勘案のうえ、可能なところから対応していく。平成18年度実施の耐震診断においては、危険性は低いとの判定を得ており、全面的な改築は現在考えていない。し

かし、拠点施設としての機能強化を図る観点から必要な施設改修等については検討していく。また、周辺整備においても藤島庁舎、藤島地域を中心に、本所の関係部署が連携して検討を続ける。



藤島地区地域活動センター



富樫 正毅  
議員

## 山大農学部学生の定住策は

議員 山形大学農学部の学生の夢を実現できる雇用環境が鶴岡にあることが理想であり、課題を整理し、総力を挙げて学生の地元定着・定住にむけた取り組みを強力に推進すべきと思うが。

総務部長 農学部の近年の就職状況を見ると、鶴岡市内には、数名のみの就職状況である。学生の鶴岡定着を図るためには、専門性のある就職先の確保のほか、新たな6次産業化や食のビジネスの創出などが重要である。大学と地域企業や、庄内の自治体などで組織する山形大学農学部地域産学官連携協議会が22年度に設立されており、学生の地元定着・定住の視点から課題を掘り下げ、対応策を検討していく。

## 食文化に山大農学部との連携を

議員 食文化創造都市鶴岡の地に山形大学農学部がある。学生の英知が鶴岡の食文化を発展させてくれる期待がある。食文化創造産業を起業するにあたり、山形大学農学部の学生にその一翼を担っていただき、鶴岡が創造性あふれる食文化産業のまちになることを期待するが。

総務部長 食文化創造都市事業に関する農学部との連携については、推進母体である食文化創造都市推進協議会や山形大学農学部地域産学官連携協議会などの場において、議員の提言を十分に踏まえ、その効果的な方策を検討し、進めていく。



中沢 洋  
議員

## 庄内はひとつ、庄内市構想は

議員 日本創成会議で、近い将来庄内全市町を含む896市町村が消滅の危機に直面しているとの衝撃のデータが報告された。人口が減れば納税者が減る。雇用機会をどう創っていくか、人口減少の危機をいかに防ぎ、この地域をどう創るのか。

国際化、グローバル化、地域間競争激化の時代、世界と地域を見据えてこの地域の存在感ある未来、将来ビジョンを掲げ、ブランドデザインを描かなければならない。人材が集まりたくなる中核都市「庄内市」の実現を目指すべき。

総務部長 庄内は一つという理念、庄内が一体となってこの地域の発展を目指していく意義については同様の思いであるが、一方で行政サービスを広い地域にしっかりと提供するためのシステム構築等、諸所の条件整備が見通せることとなったときに、庄内市の議論があると考え。市長 将来的には、今の現状を考える上では庄内は一つという

ことは間違いのない事実になり得ると思う。いつの時点かは明確に言えないが、必然的に庄内市の誕生は、近い将来の話題となり得る。完全に地方交付税が一本算定となり、合併特例債が終わる平成33年度以降の大きな庄内の課題であると認識をしている。成長戦略を考える上では、大庄内市が誕生することも大きな夢のある課題である。



菅原 一浩  
議員

### スポーツ施設の整備検討状況は

議員 小真木原テニスコートの人工芝老朽化対策について伺う。  
教育長 人工芝コートは整備後20年以上経過しており、大会運営や日々の練習に支障がみられる。安全・安心に利用できる施設環境の充実を図り、良好な施設環境を維持していく上でも、人工芝改修の整備促進を図る。

議員 人工芝グラウンドと屋内多目的運動施設の施設整備の方向性について伺う。  
教育長 共に本市に未整備の施設であるが、利用者の利便性の向上と利用混雑の解消につながるものが期待されるので、今後

整備が必要な施設と認識している。これらの未整備施設についてはスポーツ振興くじ助成制度のような整備財源等を考慮しながら、より効果的・効率的な施設整備を推進し、身近に利用できる施設整備の充実を図る。

議員 鶴岡第三中学校区の屋内体育施設の整備について伺う。  
教育長 本市のスポーツ拠点である小真木原総合体育館を初めとする屋内体育施設の利用混雑の緩和、解消を図るためには、小真木原に隣接する中学校区の第三中学校区へ地域拠点体育館を配置することが最も効果的であると考へ、本市スポーツ推進計画にも記載している。これらスポーツ推進計画における施設整備を着実に推進していきたい。



岡村 正博  
議員

### 洪水や土砂災害に影響及ぼす ダムの管理は

議員 菱津地区にある治山ダムの現状と、今後の管理について。  
農林水産部長 治山ダムは、堰堤に土砂を堆積させることにより、溪床勾配を緩やかにして流速を抑えることで山腹崩壊を防

ぎ、土石流を減速させ被害を軽減する役割を果たすものである。堆積した土砂は基本的に、浚渫は行わないことになっているが、ダム本体は山形県管理となっているため、堰堤に被害が生じた場合は、山形県が復旧することになっている。

### 防犯灯のLED導入の効果は

議員 LED防犯灯導入の現状と効果について伺う。  
市民部長 今年度中には市全域で完了する予定になっている。省電力、長寿命というLEDの特性から、料金や灯具交換といった維持管理費の削減ができ、市と住民自治組織双方にとって負担の軽減になると考えている。



導入が進むLED防犯灯

### 第五中学校前の防犯灯対策は

議員 通学路の防犯灯整備について考へを伺う。  
市民部長 効果的に整備を進めていくという考へを持ちながら、自治組織にもご理解をいただき、適切な防犯灯整備を進めて安全・安心のまちづくりを推進したいと考へている。



本間新兵衛  
議員

### より透明性の高い行政経営を

議員 職員の質的向上や意欲改革により、優れた行政運営を行うためには、人事評価制度の導入が必要と考へるがどうか。  
総務部長 人事評価制度は業務評価と能力評価を行い、職員の任用や給与などの人事管理と、人材の育成が目的である。本市は昨年より管理職クラスを対象として試行実施しており、今後本実施に向け対象者の拡大を図るとともに、検証を進める。

議員 同時に分かりやすく透明性の高い行政経営を実施するための道具として、行政評価制度の導入も必要と考へるが。  
総務部長 まちづくりに必要な

施策や事務事業の目的や方法を明らかにし、業務の達成度や成果を評価し、その結果を事業の見直しや予算編成に反映する重要な制度であり、体系的な制度の導入について検討していく。



消化ガス発電事業完成予想図

### 再生エネルギーの地域活用を

議員 固定価格買い取り契約中※断による本市のバイオマス発電※消化ガス発電事業への影響は。  
又、農業への戦略的な活用策は。

農林水産部長 報道では買い取り契約の再開の見通しがあるとのこと、事業体では速やかに事業実施が可能ないように施設整備や手続き等を進めている。

活用では農作物生産額に対し費用対効果が低いなどの課題もあるが、木質バイオマス発電の

※消化ガス発電…下水処理工程で発生する消化ガスを有効活用して、発電すること  
※木質バイオマス発電…間伐材の内、未利用材等を燃焼した熱で蒸気を作り、その蒸気の圧力でタービンを回して発電すること

廃熟を利用し施設園芸農業への課題を検討している。



佐藤 聡 議員

### 新文化会館の管理運営計画は

議員 新文化会館の運営にあたっては、舞台芸術に止まらず、交流拠点としての仕掛け作りや、観光、食文化との連携の視点が必要と思うが市の考えは。

教育部長 交流、にぎわい創出事業や街づくりに貢献する機能を持たせたいので関係部による庁内会議を設け、議論を進める。議員 運営主体や館長等の選定の時期や方法は、公募で選定する考えはあるのか。

教育部長 運営主体については、新たな指定管理者にもなり得る運営体制の構築も視野に、運営組織作りを早期に検討する。開館予定の約一年前までには決める必要があると考えている。選定方法はまだ決まっていない。

### 松食い虫被害対策は

議員 砂丘地の松食い虫被害の実態と対策は。

農林水産部長 本市の被害量は平成22年に172㎡に減少した

が、その後増加に転じ、今年は9月末で545㎡と3倍である。庄内海岸林全体でも同様の傾向にある。被害木の伐倒破碎処理や薬剤散布が有効な防除法とされ、国・県と市が連携して防除を実施している。被害拡大による防除が追いついていないため、年度内に被害を調査し、防除強化対策について県と調整を進める。



被害木の伐倒破碎処理



小野 寺佳克 議員

### 低価格入札の状況は

議員 公共工事は地域経済循環雇用対策の一翼を担っていると考える。低価格入札は、工事の品質低下、地域経済への悪影響があると思うが状況を伺う。

総務部長 低入札価格調査の件数は、11月末までの対象工事139件中26件で、調査を経て全て契約に至っている。落札率は低入札以外の案件の90%台に比べ概ね10%程度低い。25年度以前はB、Cランクの工事が多かったが、今年度はA、Bランクで多く発生している。

議員 過度な競争やダンピングを防止するため、県で実施している最低制限価格制度を導入してはどうか。

総務部長 低入札価格調査制度と最低制限価格制度はどちらもメリット、デメリットがある。県の制度も参考にし、低入札の発生状況を見ながら検討する。

### 県道西目大山線の大型車規制は

議員 西目大荒協議会が長年要望している当該路線の大型車規制要望への対応は。

建設部長 県に対し継続して市の重要事業に位置付け、当該路線の軟弱地盤対策を要望してきた。抜本的対策とはいかないが、オーバレイなどの振動対策、啓発看板の設置、由良坂からの入口に電光掲示板の自主規制看板設置などの対策が取られてきた。市としても、要望が実現するよう働きかける。



本間 信一 議員

### 羽黒庁舎改築計画は

議員 羽黒庁舎改築までの経過や基本計画策定においてのコンセプトは。改築に住民の声をどう反映させていくか。

羽黒庁舎支所長 現庁舎は昭和35年に建設されたもので、耐震調査で耐震補強の必要があった。地域の将来を見据えた時、耐震補強よりも改築の構想に至った。来年1月まで基本設計、5月を目途に実施設計を完了させ工事費を積算したい。庁舎棟は木造とし、消防羽黒分署棟も併設し、自然災害にも対応しうる堅牢なものとして計画しており、住民とのコミュニケーションの推進や防災の拠点を目指す。平成28年度の供用開始を目標に来年度工事に着手したい。区長会や地域審議会、地域づくり懇談会等、住民の声を計画に反映させたい。

### スキー教室への市の対応は

議員 スキー教室の進め方は。教育長 昨年度の実施状況は、学校行事で14校、PTA行事で3校。今年度は15校予定している。

る。本市としては子供たちが、ウインタースポーツを体験することにより、ふるさと鶴岡の豊かな自然を理解し、生涯にわたってスポーツに親しもうという意欲を高めるきっかけづくりになると考えている。多くの学校にスキー教室を実施していただくため、リフト代の補助、スクーバスの利用などで積極的な計画・実施を働きかけていく。



スキー教室の様子



佐藤 博幸 議員

### 市全体のまちづくり方針と

### 中心市街地活性化は

議員 急速な人口減少と高齢社会を見据えた市全体のコンパクトシティのまちづくりは重要で

※ダンピング…採算を度外視するような低い価格で商品や役務を供給し、公正な市場競争を破壊する行動のこと。独占禁止法により禁じられている。  
※コンパクトシティ…市街地の無秩序な拡大を抑え、都市中心部を有効活用し、機能集積を図る考え方

ある。中心市街地の商業者は予定されている大規模開発に不安を抱いている。尚一層の中心市街地活性化策・商店支援策を伺う。  
商工観光部長 第2期計画策定では「住み・暮らし・活動する場」の基本方針を維持しソフト事業を大切に、駅前山王銀座七日町等の商店街の方々と熟度を高め具体化させて計画を立てたい。



### 茅原地区整備の基本方針は

議員 県立こころの医療センターを中心とした茅原地区整備構想に対する市の基本方針を伺う。  
建設部長 都市計画のグランドデザインとして都市再興基本計画策定準備をしている。医療福祉施設・店舗等生活利便機能基盤整備・地区計画制度導入により北部拠点地区として、市民との協働のまちづくりを進めたい。  
サイエンスパーク構想の方針は  
議員 市民のサイエンスパークへの期待は大きい。開発する不動産運営会社の開発計画に都市計画の視点から基本方針を伺う。

総務部長 次世代のイノベーション都市として人口減少を打開する有力な手法の一つに位置づけ有識者や市民のご意見を踏まえ拠点計画づくりを推進したい。



尾形 昌彦  
議員

### 海岸部の強風対策は

議員 湯野浜地区で防風柵が未設置となっているエリアに今後防風柵設置の予定はあるか。  
建設部長 未設置エリアは緩衝帯と樹木による防砂効果があることや飛砂防止策や飛砂ポケットによる飛砂量の軽減により、現在、防砂柵の設置計画はないが、宮沢地区の飛砂被害が増加していることもあり、県への要望を続けていく。

議員 油戸地区の越波対策策定期は。  
建設部長 油戸の越波対策の計画策定は津波浸水予測図の見直し作業後の平成28年度以降を予定している。  
温泉地の源泉保全是  
議員 温泉の源泉保全における行政の役割は。また今後、必要な源泉設備の整備を行う際に整

備費の一部に入湯税を充当することを選択肢にできるか。

商工観光部長 源泉の維持管理は第一義的に旅館業者、温泉利用者が責任をもって行うべきもので、具体的には温泉の源泉会社・組合が行うべきことだが、更新には多額の費用を要することも想定される中、市にとって重要な資源であるので市の役割を今後の課題として検討したい。  
総務部長 市としては具体的な課題に当たって管理組織との関係性、支援の妥当性を吟味した上で入湯税を充当するかどうか判断していく。



佐藤 久樹  
議員

### 河川の草刈り作業充実を

議員 河川愛護デー等で活動している団体は農地を守る、環境を整える観点でボランティアによる草刈りを行っている。今後高齢化等により懸念される状況について市の見解を伺う。

建設部長 鶴岡地域6河川・藤島地域2河川・櫛引地域4河川で活動を行っているが、高齢化による人手不足が顕著化しており除草範囲の減少が課題となっ

ている。これまでは、河床の支障木撤去や堆積土砂の浚渫等は、大がかりになるため県に要望し業者委託で行っている。今後は、河川の草刈り作業における機械の導入や専門業者委託についても、県に改善策の要望をしたい。

### 婚活に“活力”を

議員 少子・高齢化への一環として婚活が話題となっているが、昨今は色々と工夫を凝らした婚活イベントへ取り組んでいる市内の団体が高く評価を受けているが、市の所見について伺う。  
総務部長 本市においても未婚化が進んでおり、特に男性は、全国や県の水準より高くなっている。鶴岡市自治振興会連絡協議会では複数の地域が連携し婚活イベントを行っている。地域発展、地域おこしの一環として、今後も企業や団体、地域、鶴岡婚シェルジュと連携しながら社会全体で結婚を後押しできる環境づくりを積極的に進めていきたい。



五十嵐 一彦  
議員

### 国道345号の今後の整備促進は

議員 日東道開通及び小学校統合に向けての国道345号の整備状況は。  
建設部長 平沢・関川間の整備促進について、市では重要事業要望として位置づけ、早期の実現を要望してきた。日沿道新潟県境区間事業化に伴い、国道345号の重要性がさらに高まることから、当該区間の早期の抜本的改良整備を引き続き強く要望していく。

### 地域エネルギービジョンの進捗状況は

議員 小水力発電施設及び風力発電事業の計画についての情報と、エネルギービジョンの進捗状況は。  
農林水産部長 県が事業主体となつて庄内赤川地区への小水力発電施設の整備に着手しており、28年春に発電を開始する予定。また現在三瀬地区内に民間企業による風力発電事業の計画が進んでおり、八森山山頂付近で風況調査を実施している。



地域エネルギービジョンについては、太陽光、小水力、廃棄物を利用したバイオマス、木質バイオマス等、本市における再生可能エネルギーの導入は、着実に進んでいるものと認識している。今後も積極的に進めていきたいと考えている。



上野多一郎  
議員

### 介護予防、健康寿命の延伸策を

**議員** 本市の65歳以上の人口高齢化率は30%を超えた。健康上の問題なく日常生活ができる健康寿命の延伸策と介護予防策は、健康福祉部長 本市の高齢者のみ世帯は5年間で300世帯増の7,681世帯で、在宅生活支援家事援助サービスや急病・事故の際の通報事業等を実施し、地域包括支援センターでは、金銭・財産管理の相談を受けている。介護が必要となる原因では、脳卒中や年齢を重ねるにつれ認知症や転倒骨折等が増えている状況であり、健康寿命を延ばすため、本市の保健行動計画に基づき保健指導や健診受診率の向上を図っている。認知症は、年々増加しているが、地域支援推進

員を配置し、日常生活を支える取り組みとして、家族の集い等を開催している。



介護予防事業「まちなか筋しゃん塾」

### 冬期防災対策、水利確保は

**議員** 冬期間の消防水利で、自然水利の水門が閉められ、利用できない状況にあるが。  
**消防長** 消防水利は消火栓や防火水槽等安定して一定の水量を確保できる水利を優先使用しての消火を基本としている。自然水利は水位の変化があり、初期段階で選定していない。このことから消火栓、防火水槽は常に有効に使えるよう消防団と連携し、施設周辺の除雪管理や点検に協力をいただいている。水路の水どめは、毎秋土地改良区から事前通知により承知している。

### 防災・減災対策の強化促進対策は



今野 良和  
議員

**議員** 木造住宅耐震化の現状と促進対策にどう取り組むのか。

**建設部長** 平成25年度末現在の木造住宅の耐震化率は、約71%で当初計画策定時約52%と比較すると耐震化は図られているが、目標とする来年度90%にはまだ開きがある。促進対策としての木造住宅耐震診断事業は、市が診断費用の9割を助成するもので、25年度まで154件が実施している。耐震リフォーム事業は、改修費用の4分の1、上限額60万円の補助事業で、25件の実績があり耐震化の促進につながっている。

### 海岸地域の

### 津波対策の強化を

**議員** 今年8月に報告された、日本海大規模地震による津波の規模、到達時間の推計に危機感をもって見直し作業を進めるべきと思うが。  
**市民部長** 今回の国の報告に基づく県の解析作業の結果を待ち、

津波ハザードマップ、避難方法や避難場所、避難経路の見直し作業を進め、人命を守ることを最優先に対策に取り組んでいく。  
**教育長** 海岸部にある湯野浜小学校の安全対策については、津波の高さ、時間がこれまでの想定を越すもので、県の検討結果を基に市の関係部局、地元自治会と連携し抜本的な見直しも含め安全対策に取り組んでいく。



ハザードマップや防災用品の展示



田中 宏  
議員

### 防災と福祉を一体とした「地域防災コミュニティ」のために

**議員** 災害応援協定の現状と実効性を高めるための取り組みは、県がコンビニなどと締結している包括連携協定の活用は、自主

防災組織と地域内の事業者の連携の現状と支援体制は。

**市民部長** 災害応援協定は、食料・飲料など物資確保関連が7団体、道路・水道など公共インフラ復旧関連が5団体、その他通信など計17民間事業者と締結している。東京都墨田区、兵庫県篠山市、新潟県胎内市とは災害時相互応援協定を結んでいる。山形県建設業協会鶴岡支部と山形県解体工事業協会は今年度の鶴岡市総合防災訓練に参加し、消防団との連携など、有事を想定した具体的な実働訓練を実施することができた。今後も、協定締結団体に、市の総合防災訓練への参加や災害対応の図上訓練への協力を働きかけたい。県の包括連携協定には、急病人・ケガ人への対応、不審者からの駆け込み機能、自然災害の際の一時的な避難場所など多岐に渡る支援が含まれている。本市にも多くの店舗があり、防犯や災害対策における具体的な事業連携について研究していく。湯野浜地区では津波時の住民避難について住民と事業者の申し合わせがある。事業者が地域の一員として防災力向上に貢献できるように、自主防災組織とともに連携体制づくりを検討したい。

# 議会を傍聴してみませんか

議会は、次の方法で傍聴できます。

◆議場の傍聴席で傍聴できます。

(本所4階ロビーに傍聴の受付があります。)

◆本所及び各庁舎の市民ロビーのテレビモニターで視聴できます。

◆インターネットで中継及び録画放送が視聴できます。

(市議会のホームページからアクセスしてください。)



議会傍聴の様子(あさひ小・大網小の皆さん)

## 3月定例会日程(予定)

| 日  | 月                   | 火                      | 水                        | 木                   | 金                             | 土  |
|----|---------------------|------------------------|--------------------------|---------------------|-------------------------------|----|
| 1  | 2                   | 3<br>本会議<br>(総括質問)     | 4<br>予算特別委員会             | 5<br>本会議<br>(一般質問)  | 6<br>本会議<br>(一般質問)<br>議会運営委員会 | 7  |
| 8  | 9<br>本会議<br>(一般質問)  | 10<br>本会議<br>予算特別委員会   | 11<br>総務<br>常任委員会        | 12<br>市民文教<br>常任委員会 | 13<br>厚生<br>常任委員会             | 14 |
| 15 | 16<br>産業建設<br>常任委員会 | 17<br>意見書調整日<br>委員会予備日 | 18<br>委員会予備日             | 19                  | 20<br>議会運営委員会                 | 21 |
| 22 | 23<br>予算特別委員会       | 24<br>本会議              | 25                       | 26                  | 27                            | 28 |
| 29 | 30                  | 31                     | 意見書・請願 提出期限…2月25日(水)午後1時 |                     |                               |    |

左記の議会日程のうち、委員会はテレビモニター放映やインターネット中継が行われておりませんので、ご注意ください。

平成26年中は、509の方が市議会を傍聴されています。

今年も多くの方の傍聴をお待ちしております。



## 議会傍聴アンケート

12月定例会を傍聴された方に、ご協力いただいたアンケートに寄せられたご意見・ご感想の一部と対応を紹介します。

- 答弁をもっと自分の言葉として、話してもらえると理解しやすくなる。
- 質問者と質問事項を前もって、市民に知らせて欲しい。会議録を公開して欲しい。インターネットで公開しております。また、質問の一覧表は開会2日前に、本所1階市民ロビー及び各庁舎、コミセン、図書館等で配布しております。会議録は同場所で閲覧できます。
- 以前よりマイク音量が良くなった。前回アンケートで傍聴席のマイク音量について多数のご意見をいただき検証し、今定例会より音量調整をしました。



編集後記

寒さも一段と増し、いよいよ受験シーズンとなりました。風邪など引かぬよう体調にご留意ください。

市議会だよりも今号で40号になりました。今後とも、市議会に関心をもっていただけのように見やすく、分かりやすい紙面になるよう努めていきたいと思えます。

ご意見・ご感想など、ございましたらお気軽に議会事務局までお寄せください。

〒997-8601  
山形県鶴岡市馬場町9-25 鶴岡市議会事務局  
電話：0235-25-2111 FAX：0235-25-2123  
メール：gikai@city.tsuruoka.lg.jp